



福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成28年

9月14日(水)

例会場：福島サンパレス

第10回
例会

会員/75名 出席/52名 出席率/69.33%

メイクアップ/23名 修正/75名 修正率/100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 会長 佐久間 功

米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま」というニュースレターが入りました。それによりますと、8月までの寄付金は前年同期と比べて3.4%約1,070万円の減少となりました。前年度よりは減少したものの、寄付累計額としては直近8年間のうち2番目に高い金額で、好調に推移しています。多くのロータリアンからのご寄付に熱く感謝申し上げますとのことです。又、最新の米山月間資料がまもなく届くそうです。その中の豆辞典は全員に配布されます。さて、季節は、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の風景が目につくようになりました。穀物の収穫に感謝し、米を粉にして丸めて作る月見団子の十五夜は明日です。昔は、月の満ち欠けによって暦が作られ、農作業も進められていましたから、満月の数や新月から何日目の月

かということは大きな意味がありました、それで十五夜には15個の団子を供えることになりました。明日は月が見られると思います。ススキを飾り、ムードを盛り上げては如何でしょうか。

姉妹クラブ結成5周年記念交流会の案内が麴町ロータリークラブからきております。10月24日(月)午後6時からホテル・ニューオータニで会費10,000円で行うとの事です。現地までの交通費の一部をクラブで負担しますので、多くの会員の皆様のご参加をお願いします。

米山記念奨学生チャン・ファンユーさんの台湾のお住まいは、高尾だそうですが、スーパー台風が近づいているようです。十分お気を付け頂きたいと思います。

本日はこの後、誕生日祝いと、新会員河谷さんのスピーチがあります。どのようなお話をされるか楽しみです。

以上で会長挨拶といたします。

9月21日(水)のプログラム

- 12:30 ①開会点鐘
- ②ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ③4つのテスト
- ④来訪者紹介と会長挨拶
- ⑤スマイリングBOXの報告
- ⑥お食事をどうぞ
幹事報告
- ⑦ゲストスピーチ
日本銀行福島支店 中尾根 康宏支店長
「福島を取り巻く経済状況と今後の見通しについて」
- ⑧各委員会報告
- 13:30 ⑨閉会点鐘

今後のプログラム

- 9月28日(水) 移動例会 福島市保健福祉センター
乳幼児食育支援プロジェクト
フードモデル贈呈
- 10月5日(水) ガバナー公式訪問
ガバナー補佐クラブ訪問
例会前:会長・幹事会 クラブ協議会
- 10月12日(水) ロータリーの友読みどころ
誕生日のお祝い
米山奨学金授与
米山奨学生スピーチ
新会員スピーチ
- 10月19日(水) 夜間例会 会員スピーチ 新会員歓迎会
新会員オリエンテーション
全会員セミナー
- 10月26日(水) 猪苗代湖漂着水草除去回収作業参加報告
大声杯参加報告
姉妹クラブ結成5周年記念行事参加報告
会員スピーチ

地区情報・第一分区・関連情報

- 9月24日(土) RI会長代理歓迎晩餐会(華の湯)
- 9月24日(土) 会長・幹事会、指導者育成セミナー
- 9月25日(日) 地区大会・本会議(ユラックス熱海)
- 10月4日(火) 第4回会長幹事会(二本松)
- 10月5日(水) ガバナー公式訪問
- 10月5日(水) パスト会長会・指名準備委員会(夜間)
- 10月7日(水) ガバナー歓迎晩餐会(二本松御苑)
- 10月22日(土) 地区社会奉仕委員会セミナー(ユラックス熱海)
- 10月22日(土) 猪苗代湖・漂着水草除去回収作業
- 10月23日(日) 大声杯(あづま球場)
- 10月24日(月) 姉妹クラブ結成5周年記念行事(ニューオータニ)



ロータリーの友 9月号 読みどころ
クラブ広報・雑誌委員会
丹治 洋子 委員長

アトランタ国際大会にてロータリー財団100周年を祝おうということで、特集が組まれています。

ブレキナファソにおける成人女性の識字率は16.7%となっており、当地区におけるロータリー財団のグローバル補助金による識字教育プログラムに関する報告が掲載されています。

社会になじむことが難しい若者支援ということで、ニートに関する特集が掲載されています。
※内容を抜粋して掲載しています。



地区米山カウンセラー研修会報告
米山記念奨学会委員会 一條 浩孝 委員長

2016年9月11日(日)、郡山市ビックパレットにおいて、米山カウンセラー研修会が佐久間英一ガバナーはじめ地区役員の方々、現カウンセラー10名、元カウンセラー1名の参加を得て開催されました。まずチンタカ・クマラ福島米山山友会会長から「米山奨学生から見たカウンセラーについて」と題しての講演をいただきましたので、その内容を中心にご紹介致します。

まず、奨学生にカウンセラーのことを聞くといいところしか話をしません。お世話になった話をたくさんしてくれます。ああいう所で飲んだ、食べた、こういう所に連れてってもらった・・・。

しかし、奨学生に聞いたカウンセラーの罰点もありますのでその話をしましょう。一番最初に出てくるのは「すごく厳しかった」ということです。特に時間に厳しい日本人との間にある生活習慣の違いから、例えば彼らにとっては少し遅れただけなのに、大げさに怒鳴られてしまった。といったことです。

次に毎週飲み会にばかり誘われて困った、と言う人も。仲良くなるために必要なこととはいえ彼らにはアルバイトがあったり生活に影響を及ぼしてしまう場合もあるため、節度をもって誘う配慮は必要でしょう。

そして一番辛かったという話が、カウンセラーから自慢話を聞かされることです。「この車いくらするかわかる?」「私は〇台持ってる、もちろんみなさんがそうだというわけではありませんが、これまで何回も何回も相談を受けてきました。「会うたびに自慢話を聞かされるので何とかありませんか」と。気を付けて頂けるとありがたいです。肝に銘じてカウンセラーの役割を果たして参りたいと思います。



新会員スピーチ 河谷 元 会員

河谷元と申します。福島南 RC のメンバーに加えて頂いてから2月余りが経過しました。その間、先般の納涼会をはじめ様々な経験をさせて頂いていることに感謝いたします。

私は福島市に生まれ、今年の6月で41歳になりました。小4と小2の2人の女の子がおります。今回は新会員スピーチということで、私の仕事の内容や、プライベートな話をいくつかしたいと思います。

私の本職は不動産鑑定です、不動産鑑定とは、端的に言えば不動産の価格を判定するものであり、市場ではどの程度の価格の取引が予想されるのか、あるいは賃貸ならばいくら位の賃料が予想されるのか、を提示することが中心となります。

依頼元としては公共用地買収の関連で県、市といった公共依頼が多いのですが、民間の場合は会社・法人と代表者・役員との間の取引等、市場を通すわけではないが特に客観的・中立的な価格が必要とされる場合に依頼頂くことが多くあります。またこのような事業用不動産は規模が大きかったり、地形が悪かったりすることも多いため、例えば固定資産税の納付書に書かれている評価額のような公的評価価格をそのまま適用するにはやや難がある、ということもありますので、そのような観点からのご依頼もござります。

さて、この不動産鑑定士という仕事は関連法令が整備されたのは昭和38年、資格として本格的に国内で活動が始まったのが昭和40年代ということで、比較的新しい資格として認知されていると思われます。他の士業、例えば弁護士、司法書士、行政書士等は、まあ当時は代言人、代書人という名前ではありましたが、明治時代の初期に既に法整備がされていたことと比べれば、不動産鑑定士の歴史は確かに浅いものではありません。しかしながら土地の価格を判定する、という行為について見ますとその歴史は非常に古く、旧約聖書の創世記に既にそのような記述が見られます。今のユダヤ人の祖先とされるアブラハムが、パレスチナ地方の先住民であるヒットイト人から土地を買うに際して、当事者ではない第三者の提示した価格に基づいて代価を払う、という場面があり、このアブラハムは紀元前2000年頃の人物ということですので、この時代に既に、まあさすがに職業的なものではなかったでしょうが、土地の価格の評価というものが行われていたと考えられます。また時代が下って紀元前1200年頃に成立した古代ユダヤの律法では、既に土地価格の評価方法についてのかなり具体的な記述がありますから、不動産鑑定というものは実に、このような古代文明の時代からずっと地域によっては土地が全部支配者の所有物とされていたりすると必要性は無くなったりするわけですが、続いているものということがいえると思います。

今度はプライベートの話にいきたいと思います。私は5年ほど前から福島男声合唱団というアマチュア合唱団体に入り週1回のペースで練習に参加しております。また本番、といっても合唱祭のようなものへの参加が中心なのですが、年に2~3回ほどあります。団員は合唱メンバーが19人で、合唱団としてはやや人数は少なめといったところでしょうか。

練習は平日の夜でして、仕事が詰まってきたりするとなかなか参加できなくなったりするのですが、楽しい時間を過ごすことができしております。

さて、合唱では私もあまり好きでないことがいくつかあり、新しい曲の練習での最初のほうと本番です。新しい曲を練習する時はそこそ歌えるようになるまで音楽とは云えないレベルの雑音状態が続き、かなりの忍耐を必要とします。でもこれを越えると次第に歌が形作られていく一番楽しみな次期が来るので、その為の土台を積み上げる次期と思い練習しています。又、本番では緊張することと体力的に最近きつくなってきた事が理由です。でも本番の舞台があるということはそれだけでも恵まれたものですからプレッシャーと体力をコントロールしながらやって行きたいと思っております。ご静聴有難うございました。

福島成蹊高等学校 IAC 例会報告

青少年奉仕委員会 伊藤 紘一 委員長



テーブルディスカッション風景

9月14日16時45分から第4回IAC例会が福島成蹊高等学校にて行われました。今回の例会ではロータリアンとIAC生が数名で同じテーブルに座り、ロータリアンの職業についてや、社会人に必要な事などを題材としてテーブルディスカッションを行われ、各テーブルの生徒たちはロータリアンの話す内容に熱心に聞き入っていました。当日参加されたRC会員は12名でした。

事務局：〒960-8151 福島県福島市太平寺字通吹6-2 ザ・36・メイファイブ1F2号室 TEL025-546-3793 FAX024-545-7878

HP：http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html MAIL：f-southrotary2530@inaka.ne.jp

例会場：サンパレス福島 〒960-8101 福島県福島市上町4-30 TEL024-523-3811(代) FAX024-523-0375

福島南ロータリークラブ理事会トピックス

乳幼児支援プロジェクト・フードモデル贈呈について

佐久間会長より地区財団補助金活用の奉仕活動である乳幼児支援プロジェクト予算は地区財団補助金は申請半額の¥123,120の通知があり当初の予算¥246,240より増加した旨の報告があった。協議の結果やむを得ないことでもあり予算修正が全会一致で承認された。